

リハビリケアかつしかの



繰り返し利用システム

「ご自宅」と「リハビリケアかつしか」を
3ヶ月程のサイクルで繰り返し利用するシステムで

- ★**メリット1** 入所中は毎日リハビリをすることができます。退所しても併設のショートステイ・通所リハビリ・訪問リハビリを利用することで、切れ目なくリハビリを続けることができます。
- ★**メリット2** 無理なく介護を続けることが可能です。3ヶ月ごとに施設に入所されるのでご家族負担が軽くなります。
- ★**メリット3** リハビリの専門職が必ずお宅訪問をします。入所前や退所後にご自宅に伺い、ご家庭内のお困り事等相談に乗ります。適切な**介助方法**もご指導致します。

広々とした
リハビリ室



訪問にも
伺います！



医療法人社団協友会 介護老人保健施設

リハビリケアかつしか

〒124-0025

東京都葛飾区西新小岩3-37-8 TEL 03-5672-1178



かつしか リハビリ通信

平成28年7月
No.0022
記事☆OT野村純平
編集☆リハビリ科

訪問リハビリを開始致しました。お気軽にご相談ください。

今月のテーマ『リハビリ』という言葉

今回は「リハビリ」という言葉について今一度考えてみたいと思います。

① **リハビリは「してもらう」ものではない！**
いきなり挑戦的なメッセージですが、ここではリハビリを受ける方、する側双方に言える誤解を解いて行きます。

昔では、リハビリを「してもらおう」ことが当たり前になっていました。実際手取り足取りやらなくてはいけない時期もありますが、ある程度病気や障害が落ち着いたら今度は自分で能動的にやってみていかないといいません。ずっと受け身でリハビリを受けていると「自分で生きる力」を忘れてしまいます。ですので、リハビリを受ける側の人は「自分で自分の道を切り開く」術をみつけていく必要があります。一方、私たちもしてあげるばかりではなく、受ける側の人から動きたくなくなるようなリハビリを常に考える必要があると思います。

何が違うの？

筋トレ

リハビリ

マッサージ



③ リハビリは「期間限定」

話を戻しましょう。先ほど、「リハビリは受け身ではない」という話をしました。そこにもつながる話です。ちよっと続ける言い方にはなりません。リハビリは「一生受け続けることはできません。」必ず終わりがあります。リハビリを受けることで身体機能を維持し続けているという方も多いかと思いますが、これからの時代は自ら維持する方法を習得していかねばなりません。

これだけ聞くと「なんか人一倍努力しなきゃ生きていけないのか・・・」と思われてしまいがちですが、決してそんなことはありません。普段の何気ない生活に少し工夫すれば体の機能を維持することができる方法はいくらでもあります。こうした指導をするのも私たち専門職の仕事です。

リハビリはしてあげるのが当たり前じゃないんですか？

してあげる前に僕たちの手から離れた時どうする？

その時は・・・

僕たちの手から離れても、その人らしく生きていけるように支援するのが本当のリハビリだよ。

④ 障害があっても寝たきりになっても、「あなた」はあなた。

最後に。人には長年築き上げた「その人らしさ」があります。それは障害などで体が動かなくなってしまうても失う物ではありません。生きていくうちにはなくなるもの物だと思いませんか。生き残っているうちはなくならない物だと思いませんか。今一度、自分らしさとはなにか？と自問自答したり、他人に聞いてみるのもよいかと思えます。私たちはそれを全力でサポートしていきます。私たちがそれを全力で

入所・通所・訪問リハビリのご相談は 03-5672-1178

介護老人保健施設 リハビリケアかつしか <http://www.rc-katsushika.jp/>